

放課後等デイサービス「にじいろキッズ」自己評価表

		チェック項目	取り組み状況
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	最大5名利用となった場合は生活スペース(キッズルーム)は狭く感じます。車椅子を動かす時には注意が必要です。リハビリ室、体育館等の他の場所を利用しての活動を行っています。体を休める衛生的で安全なスペースが確保できていません。今後、収納できる高台等を利用した工夫をしていきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	PTは2名対応となり支援の充実が可能となりました。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	事業所内の設備は整っています。建物周辺には坂道などが多く散歩等の活動では注意が必要です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	個別支援計画、評価の活用、一日の様子について職員間で情報共有を行い支援に繋げています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者向けアンケートや連絡帳等にて保護者からの意見を求め、改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページ上に公開しています。事業所の会報にはホームページ上に公表していることをお知らせしています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	今年度は外部評価をおこなっていません。実習生や地域・外部の見学者や他事業所からの見学を受け入れ、アンケート等を行い業務改善に繋げていけたらと思います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	施設内及び事業所別の研修を行っています。また、今年度よりネット研修を月2回開催し関係職員の資質の向上に繋げています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	本人、保護者の思いを聞き取り、よりよい支援に繋げるよう関係職員と検討分析しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	アセスメントシートは、標準化されたものを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	定例会議や個別会議等にてチームでの立案を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	上田法・感覚統合・呼吸リハなど取り入れたリハビリを行っています。昨年度の活動を振り返り、マンネリ化しないよう新しい療育活動に取り組んでいます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	定例会議や日々の申し送り時に検討し、新しい課題に取り組んでいます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	個々の特性に配慮し活動内容を設定しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	利用時の様子や保護者・学校等からの情報について情報共有・記録を行っています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	利用時の様子や保護者・学校等からの情報について情報共有・記録を行っています。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	朝礼終礼などのミーティングにて検証し改善につなげています。	

	チェック項目	取り組み状況	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的に実施し、関係スタッフ全員で見直しの必要性を判断しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	日常生活充実のための活動や、創作活動、余暇の提供などを組み合わせ、支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児発管や個別担当者が出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	基本は保護者からの情報にて対応していますが、必要に応じて学校からの情報提供をお願いしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	保護者を通じて主治医の連絡先を把握し連絡体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	保護者を通じて、連絡先を把握し情報共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	保護者の許可を取り、必要に応じて行います。個別支援計画書の内容等を情報提供するにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	積極的に研修への参加を行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	交流の機会は設けていませんが、法人内の「子ども参観日」を通して、今後交流の実現に努めます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	こども福祉協議会へ積極的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時に必ず伝えています。また連絡帳や電話にて情報共有を行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	相談を受けた場合適切なアドバイスを行うように努めています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時、改定時には丁寧に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者から相談があった場合には適切な対応助言を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	外部の父母の会との連携に努めていますが、保護者会の実施には至っていません。

	チェック項目	取り組み状況	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	対応の整備は行っています。苦情受付窓口を設置し相談があった場合、迅速に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	定期的に会報(にじいろキッズだより)を発行し情報を発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	職員・実習生には秘密保持の誓約書を取っています。個人情報についての同意書を保護者からいただいています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	送迎時や連絡帳にて日々の情報共有を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	事業所単独では行っていませんが、法人で開催する行事について広く広報を行っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	各種マニュアルを策定し職員に周知しています。保護者へは契約時に説明を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回火災避難訓練を実施しています。法人全体で、非常災害に備え3日分の飲料水・食料を備えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	法人全体で年一度研修会を行っており、必ず参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	本人家族への説明了解を得た上で個別支援計画書に記載し同意を頂いています。また身体拘束再検討会議(解除に向けた話し合い)を定期的に行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約時に確認を行い、管理栄養士と連携を図っています。食事提供時の食札にて確認し、リスクが発生しないよう徹底しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	衛生委員会にて事例報告し、委員会報告書や定例会議にて職員への周知を図っています。